

運転手 運行前点検 していなかった

脱落するタイヤは、左後軸が全体の90%強

タイヤ・ホイール・ハブボルトの点検を確実に行いましょう

由仁 走行中の大型トレーラーヘッドの 左後輪タイヤ2本脱落 ボルト8本中、7本折れる

中学校の近くを100メートルも転がり停止

2024年2月6日

6日午後1時40分ごろ、由仁町新光の国道234号線で、栗山町方向に走っていた大型トレーラーの「トレーラーヘッド」部分の左後輪のタイヤ2本が外れました。

警察によりますとタイヤ2本は脱落した地点から約100メートル転がり続けて路外で停止。

現場は中学校などがありましたが幸いケガ人や建物への被害はありませんでした。

タイヤが外れた影響でトレーラーの車体が傾き一部が破損していて、運転手は警察の聞き取りに「走っている時にタイヤが揺れる感覚があり外れた」などと話しています。

トレーラーは2023年12月にタイヤ交換をされていて、事故前日の2月5日に軽く叩いてタイヤを点検していましたが、当日は運転前に点検していませんでした。

現場ではトレーラーのタイヤのボルトが8本中、7本が折れているのが確認されていて、警察は劣化や繋ぎ留める「ナット」の緩みなどが原因とみえています。

警察はドライバーへこまめな点検やタイヤ交換後走行100キロを目安に増し締めをするよう呼び掛けています。